

平成 2 3 年度防災（地震）に関する意識調査結果について

県では、県民の防災意識や防災対策の実態や経年的変化を把握し、今後の地震防災対策を検討する上での基礎資料を得るために、平成 2 4 年 1 月に「防災（地震）に関する意識調査」を実施しました。

1 調査項目

- | | |
|----------------------|----------------------|
| (1) 東海・東南海・南海地震について | (5) 避難場所などについて |
| (2) 津波対策について | (6) 地域の防災体制について |
| (3) 住まいの地震対策について | (7) 災害時のボランティア活動について |
| (4) 大規模地震に対しての備えについて | (8) 県・市町村の地震対策について |

2 調査対象等

- (1) 調査対象 愛知県内に居住する 20 歳以上の男女 3,000 人
- (2) 抽出方法 層化二段無作為抽出法
- (3) 調査方法 調査票郵送法
- (4) 調査時期 平成 24 年 1 月 6 日～20 日（15 日間）

3 調査結果

- (1) 回収状況 回答者 1,568 人 回収率 52.3%

(2) 結果概要

東海・東南海・南海地震への「関心がある」人は 95.0% と高い水準で推移しており、そのうち「非常に関心がある」と答えた人は、前回調査から 16.2 ポイント増加しています。

また、家具などの固定、非常用食料や飲料水の備蓄については、前回調査と比べて増加していますが、地域の自主防災活動に「参加したことがある」人は 29.0% と横ばいで推移しているなどの課題もあり、今後も引き続き、県民の皆様の防災意識を高め、家庭や地域の防災対策の普及啓発に取り組んでいく必要があります。

(参考)

項	目	今回	前回
東海・東南海・南海地震への関心度	非常にある、多少ある	95.0%	93.9%
家具などの固定	大部分固定、一部固定	49.6%	44.0%
非常用食料の備蓄	用意している	64.9%	61.2%
非常用飲料水の備蓄	用意している	68.7%	62.5%
地域の自主防災活動への参加経験	いつも参加、時々参加	29.0%	28.2%

（前回調査は平成 21 年度 回答者 1,515 人 回収率 50.5%）

(3) 主な調査結果（括弧内は 21 年度意識調査）

① 東海・東南海・南海地震について

- 9割以上の方が東海・東南海・南海地震に「関心がある」としており、そのうち「非常に関心がある」とした人は16.2ポイント増加しています。

「非常に関心がある」は 63.6% (47.4%)

「少し関心がある」は 31.4% (46.5%)

② 住まいの地震対策について

- 約半数の人が家具や冷蔵庫・テレビなどを固定していると答えており、「固定していない」とした人の割合は減少傾向にあります。

「固定していない」は 44.8% (51.2%)

「一部しか固定していない」は 40.0% (36.3%)

「大部分固定している」は 9.6% (7.7%)

③ 非常用食料・飲料水の備蓄について

- 非常用の食料と飲料水を「3日以上」準備している人はそれぞれ3割強で、「用意していない」人は前回より減少しています。

食料を「3日以上」準備している人は 32.4% (29.0%)

食料を「1～2日分」準備している人は 32.5% (32.2%)

食料を「用意していない」人は 32.5% (37.2%)

飲料水を「3日以上」準備している人は 32.8% (26.7%)

飲料水を「1～2日分」準備している人は 35.9% (35.8%)

飲料水を「用意していない」人は 29.3% (35.7%)

④ 地域の防災体制について

- 約3割の人が、地域の自主防災活動に「参加したことがある」と答えていますが、「参加したことがない」人の割合は横ばいで推移しています。

「いつも参加している」「時々参加したことがある」は 29.0% (28.2%)

「自主防災活動を知っているが参加したことはない」は 25.8% (27.1%)

「自主防災組織がない（あるかわからない）ので、参加したことはない」は

43.4% (43.0%)